

「神を愛する人々、すなわち、神の御計画に従って召された人々のためには、
神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。」

ローマ 8 : 28

武蔵野公会堂で“こころゴスペル”が行われました。クリスマスに因んで救い主の預言から誕生、イエス様の公生涯、十字架の死と復活、大宣教命令と聖書の言葉を語りつつ、次々に素晴らしい] gospel が歌われ、感動と喜びの時間があつという間に過ぎてしまいました。

先週から「恵みの外」ではなく「恵の下」にいる生活をするにはどうしたらよいかについて語っています。それは信仰を働かせ、信仰を使うことにあります。どんな「からし種」のような信仰でも、もしそれを使うなら、大きな恵みを体験できます。「この方は恵みとまことに満ちておられた。」ヨハネ 1 : 14 また神様のみ前に罪を悔い改めましょう。「たいねふぼおつ(高ぶり、怒り、妬み、不品行、暴食、怠り、強い欲心)」その時に罪が赦され、神の子とされ、永遠のいのちを持つことが出来、それだけでも恵の下にいますが、更に①祈ること②聞き従い、感謝することによって日々、神の生きた働きを体験し、大きな恵の下で生活できるようになります。特にローマ 8 : 28 を通して「すべてのことを働かせて益としてくださる」とは何と素晴らしい恵みではありませんか！！

私たちの人生に“あのことさえなかったら！”と思うような取り返しのつかないこと。また「ああまたやってしまった！」と思えるような日常起こる失敗があります。しかし神のことばはそれが「益」となる！と言っているのです！！信じられないようなことではありませんか？ローマ 8 : 28 には「神を愛する人々」にそうされると言っています。「神を愛する人々」とは、神を信じる人。神の言われることに聞き従う人です。人間でも“愛する”ならばその人の言っていることばを聞きますね。(妻と夫の関係 夫は妻を愛しなさい。妻は夫に従いなさい)より強い神に人間が従うという霊的な原則を守るなら、その愛の関係が保たれ、人間が恵の下で生活できるのです。ですから私達はどんな時も過ちを“悔い改め” “神に従う”ならその失敗が“益”となるというのです。その実例を聖書の中から見ることができます。(これほど恐ろしい罪を犯した人がいないほどのマナセⅡ列王記 21 : 1～やダビデ サムエル記・列王記)シロアム(週報)の中身の告白をしましょう(私達は罪を悔い改めました、、、)まさに暗闇に光が射てくるような“クリスマス”の出来事です。従うことによって得られる恵みであり福音です！！

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

ノア勝裕&和子



Siloam

2016年12月25日 No.925

(シロアム:遣わされた者 ヨハネ 9 : 7)

新年度の御言葉 「それと同じように、信仰も、

もし行いがなかったなら、それだけでは、死んだものです。」ヤコブ 2 : 17



12/24 武蔵野公会堂にて“こころごすべる”

主の十字架クリスチャンセンター The Lord's Cross Christian Center

<http://tlccfrh.astone-blog.jp/>